

紺碧

こ ん ぺ き

春

SPRING
2025 vol.13

紺碧 2025年春号 編集・発行：社会医療法人財団 石心会 TEL 044-381-3366 (代) 〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング3階 発行責任者：石井映織

診療科長/消化器内科部長 | 阿部 敏幸

消化器内科副部長 | 宮本 勇治

特集 消化器疾患の内視鏡治療について

優しくて頼りになる医療・福祉を目指します。

石心会グループ 埼玉地区

社会医療法人財団 石心会
埼玉石心会病院

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20
TEL 04-2953-6611 (代表)
<https://saitama-sekishinkai.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま総合クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-25
TEL 04-2953-9995 (外来予約センター)
〈月～金〉8:00～18:00 〈土〉8:00～17:00
〈日・祝日〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-cl.jp/>
TEL 04-2900-2223 (健診予約)
〈月～金〉8:30～18:00
〈土〉8:30～12:30 〈日・祝日〉休
<https://www.sayama-doc.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま腎クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-20
TEL 04-2900-3333
〈月～土〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-jin.jp/>



社会医療法人財団 石心会
いきいき訪問看護ステーション鶴ノ木

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-2060
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/ikiiki.php>

社会医療法人財団 石心会
狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-1114
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/irumagawa.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会介護支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2953-6777
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/sekishinkai.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会ヘルプーステーション

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2900-1302
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/helperstation.php>

医療法人社団 東京石心会
さやま地域ケアクリニック

〒350-1323 狭山市鶴ノ木1-33 TEL 04-2955-5000
<https://sayama-care.jp/>

社会福祉法人 石心福祉会
特別養護老人ホームオリーブ

〒350-1313 狭山市大字上赤坂290-1 TEL 04-2950-2400
<https://sayama-olive.jp/>



Cover Photo Story

埼玉石心会病院
消化器内科



受診の際は、
マイナンバーカードを。

※本誌のマイナンバーカードを掲載した記事は、
掲載するにあたり、掲載先が本人の同意を得た上で掲載しているため、
掲載先もその旨に留意して掲載を行います。



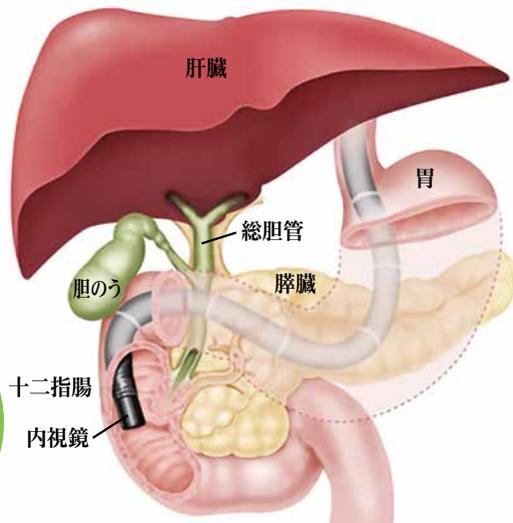
紺碧は、埼玉の広大な大地の上に広がる濃紺の空をイメージしています。地域の皆さんへ医療・福祉に関する情報を幅広く、深くお伝えしていきたいと思っています。



社会医療法人財団
石心会

胆道系疾患に挑む 内視鏡技術

近年、高齢化や食生活の変化に伴い、胆道系（胆のう・胆管・膵臓）の疾患が増えています。これらの診断・治療を支える高度な内視鏡技術の進化について、埼玉石心会病院 消化器内科診療科長・消化器内科部長の阿部敏幸医師にお話を伺いました。



© 2025 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.

消化器内科の 主な疾患

上部消化管	食道 食道がん・食道静脈瘤・逆流性食道炎 胃 胃がん・十二指腸潰瘍 十二指腸
肝胆膵	肝臓 肝臓がん・肝硬変 胆のう・胆管 胆石症・総胆管結石症・胆のうがん 膵臓 膵がん・慢性膵炎
下部消化管	大腸 大腸がん・潰瘍性大腸炎・クローン病 大腸憩室炎

消化器内科の特長

当院は「断らない救急」を理念に掲げ、消化管から膵臓・肝臓まで、あらゆる疾患に24時間365日対応しています。特に胆道系（胆のう・胆管・膵臓）の疾患に対しては、高度な内視鏡機器を導入し、従来は治療が難しかったケースにも積極的に取り組んでいます。もう一つの特長は、消化器内科と外科が緊密に連携しながら診療を行っている点です。毎月合同カンファレンスを実施し、それぞれの専門性を活かして最適な治療方針を決定しています。例えば、胆石症の治療では、まず内視鏡で胆管結

石を取り除き、その後、必要に応じて腹腔鏡手術で胆のうを摘出するなど、消化器内科と外科が連携することで一貫した診療を提供しています。また、万が一の合併症にも迅速に対応できる体制を整えています。

進化する内視鏡技術

胆道系の疾患を正確に診断し、適切に治療するために、当院が導入している主な内視鏡技術をご紹介します。

ERCP

内視鏡的逆行性胆管膵管造影
ERCPは、内視鏡を用いて胆

EUS

超音波内視鏡
2019年に導入したEUS（超音波内視鏡）は、先端に超音波装置がついた内視鏡です。胆のうや膵臓の状態を詳しく観察でき、1センチ未満の小さな腫瘍も見つけられることがあります。また、必要に応じて細胞を採取し、詳しく調べることで、がんの早期発見にもつながります。EUSを活用することで、疾患を早く見つけ、適切な治療を受けるための大切な手がかりになります。



健診と生活改善で防ぐ

症状が現れた時点で進行していることが多いため、定期的な検査が重要です。また、脂質の多い食事を控え、適度な運動を続けることが有効です。

お腹の違和感や黄疸（皮膚や白目が黄色くなる症状）を感じたら、早めの受診をおすすめします。



診療科長 / 消化器内科部長

あべ としゆき
阿部 敏幸

日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医
日本胆道学会認定指導医
臨床研修指導医

管や膵臓の疾患を診断し、治療する検査です。胆管結石の除去や胆道がんの詳しい検査に加え、ステントを留置して胆汁の流れを改善する治療にも用いられます。当院では年間約500件のERCPを実施しており、豊富な経験を活かし、安全かつ負担の少ない検査・治療を提供しています。

2018年に埼玉県で初めて導入したスパイグラスDSは、胆管内を直接見ることができ内視鏡です。従来の機器よりも操作がしやすく、画像もより鮮明になりました。細かい病変や複雑な部位まで鮮明に確認できるため、診断・治療の精度が向上しました。大きな胆管結石や複数の結石がある場合でも、水の力を利用して細かく砕き、効率よく取り除くことができます。また、この内視鏡には小型カメラと照明が搭載されており、医師が治療中に鮮明な画像をリアルタイムで確認できます。その結果、治療回数や治療時間が短縮され、患者さんの負担軽減が期待できます。

胃・大腸がんの内視鏡検査と治療

消化管（胃・大腸）の早期がんは、ほとんど自覚症状がなく発見が難しいため、早期発見には定期的な内視鏡検査が重要です。埼玉石心会病院消化器内科副部長の宮本勇治医師に内視鏡による治療と予防について伺いました。



消化器内科副部長
みやもと ゆうじ
宮本 勇治
日本内科学会認定総合内科専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会認定専門医
日本肝臓学会専門医
日本医師会認定産業医
ピロリ菌感染症認定医

早期発見が鍵

胃・大腸の早期がんは、多くの場合、自覚症状がありません。そのため、健康診断や近隣のクリニックでの内視鏡検査で偶然見つかるケースがほとんどです。かつては胃がんの患者さんが多い傾向にありましたが、近年は主な原因であるピロリ菌の除菌が進んだ影響で、胃がんの罹患率・死亡率ともに減少していると考えられています。一方、大腸がんは増加傾向にあり、特に50歳以上の方に多く見られます。症状が現れる前の段階で見つかるよう定期的に検査を受けることが大切です。

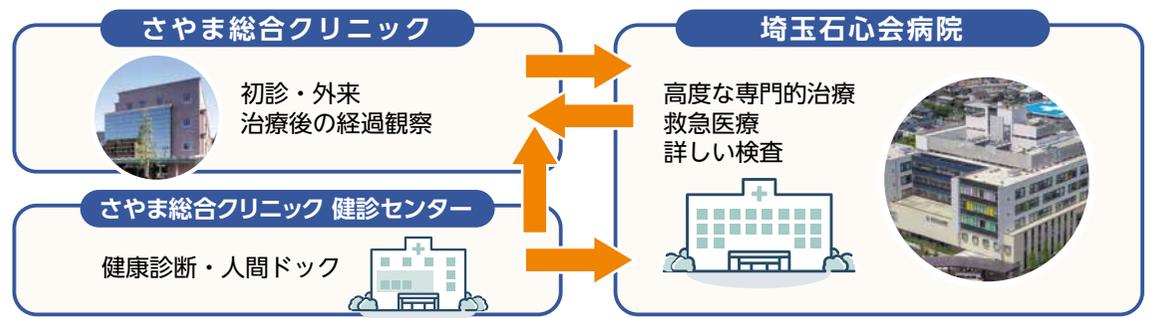
ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術

当院では、早期の胃がんや大腸

がんに対し、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を実施しています。特殊な電気メスを使い、大きな病変も一度に切除できる治療法です。切除した病変は顕微鏡で詳しく調べ、がんを取り切れたかを確認します。検査の結果、がんが深い層や血管・リンパに広がっている場合、外科的な追加治療が必要になることもあります。

ESDは開腹手術に比べて身体への負担が少なく、入院期間も短いのが特長です。退院後は早期に日常生活へ復帰でき、良好な経過が期待できます。当院では年間を通じて多くの症例に対応し、豊富な経験をもとに安全な治療を提供しています。

石心会グループ埼玉地区の診療体制



グループ内の連携

埼玉地区では、急性期治療と入院を受け持つ「埼玉石心会病院」と、外来診療に対応する「さやま総合クリニック」、健康診断や人間ドックを担う「さやま総合クリニック 健診センター」が連携して、地域に貢献する医療を実施しています。

初診・外来は「さやま総合クリニック」で行い、高度な検査、入院・手術は「埼玉石心会病院」で対応します。治療が終わりましたら、再び「さやま総合クリニック」で経過観察を行います。そして、「さやま総合クリニック 健診センター」では疾患の早期発見につながるよう健康診断・人間ドックを実施しています。一方、救急搬送されるような患者さんの場合、埼玉石心会病院へ救急搬送された時点から、消化器内科医も救命救急医とともに関わり、検査から緊急手術を含む治療まで消化器内科医が一貫して対応します。

定期的な内視鏡検査を

早期がんは自覚症状がほとんどないため、定期的な内視鏡検査が重要です。

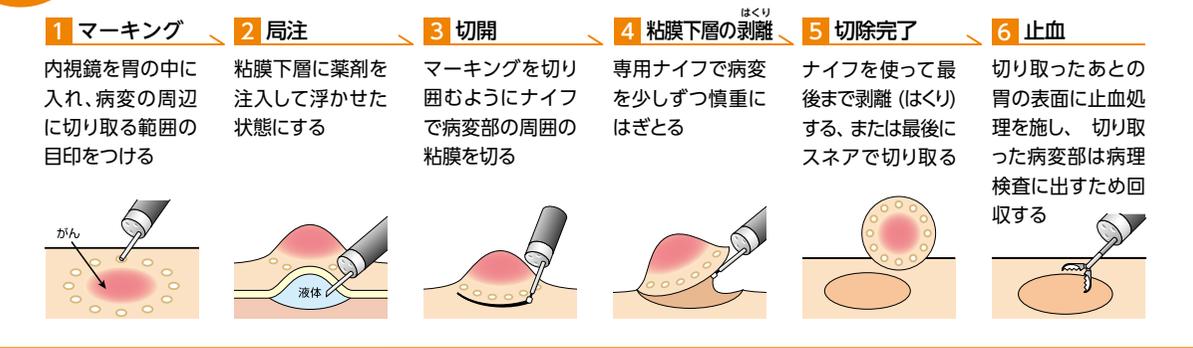
胃の検査 Gastrointestinal Fiberscope

40歳以上の方は、一度検査を受けることをおすすめします。特にピロリ菌感染歴がある方は、胃がんのリスクが高いため、毎年の検査が望ましいとされています。ピロリ菌がない方でも、2〜3年に1回の検査が推奨されています。

大腸の検査 Colonofiberscopy

40歳以上の方は一度検査を受け、ポリープの有無や大きさによって、その後の検査間隔を決定します。症状が出てからでは進行している可能性があるため、健康なうちから定期検査を受けることが何よりも大切です。

ESD 治療の流れ





医療法人和会 武蔵台病院



医療法人和会 理事長 / 整形外科専門医
河野 義彦先生

当院は99床(一般52床、回復期リハ47床)の病院です。2018年の理事長就任以降、専門の整形外科診療を中心に手術療法、急性期診療、リハビリテーションを積極的に進め、地域住民、近隣医療機関の皆様の第1選択肢となれるよう診療体制の拡充に努めています。透析診療(10床)も積極稼働しており、訪問看護や訪問リハビリテーション、併設する介護老人保健施設「日高の里」も含め医療介護のスムーズな連携も我々の強みです。

骨折診療では「骨粗鬆症治療」に力を入れています。看護師などの医療従事者からケアマネまで15名の骨粗鬆症マネージャーが骨粗鬆症リエゾンチームとして院内外で活動しています。また、持続性、継続性のある病院運営を実現するため、新しい診療システムやICT機器の活用などにも果敢にチャレンジを続けるよう意識しており、次世代に繋がるフットワークの良い組織運営を続けていきたいと思っています。

診療科目

整形外科、脊椎外科、麻酔科、内科、神経内科、消化器科、呼吸器外科、循環器科、外科、呼吸器科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、精神科、リハビリテーション科、放射線科

住所 〒350-1254 埼玉県日高市久保 278-12

電話 042-982-2222(代表)



診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	—	○	○	○	—
14:00~17:00	○	○	—	○	○	○	—

受付時間 ■ 午前8:30~11:30 午後13:30~16:30



<https://www.musashidai-hp.com/>

はら脳神経・頭痛クリニック



院長 原 渉先生

当院は開院以来、頭痛やめまい、脳血管障害などの急性期疾患から認知症、神経変性疾患などの慢性疾患まで、さまざまな患者様の診療をさせていただいております。脳神経領域における地域の相談窓口になれるよう日々尽力しております。

脳神経内科、頭痛、脳卒中、認知症などの専門領域から一般内科までを幅広く対応できること、またMRIや超音波検査機器を設置し、クリニックの利点を活かした迅速な検査を心がけていることが当院の強みと考えております。

『困った時になんでも相談に行けるそんなクリニックを目指します』を理念に掲げており、常に患者様の気持ちに寄り添い、気軽に質問や相談がしやすい環境づくりを心がけております。

診療科目

脳神経内科・内科

住所 〒350-0838 埼玉県川越市宮元町 34-10

電話 049-272-7577



診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
14:00~17:30	○	○	○	○	○	—	—

受付時間 ■ 午前8:45~11:30 午後13:45~17:00



<https://hara-neurology.com/>

より迅速な治療が可能な 診療動線

重症患者の受け入れを想定し初療から検査・治療がスムーズに行え迅速に、より高度な治療が可能に

救急病棟 新設

16床の救急病棟を新設し治療後の入院管理体制を整備



オペ室増設

重症対応に十分なスペースを確保した1室[OR15]を含め4室増設 11室から15室に拡大

設備の充実

検査設備の充実に加え手術支援ロボットを導入予定

EICU新設

4床増床しICUは全16床うちEICUに6床配置 [6床のうち個室2室は隣隔、透析に対応]



埼玉石心会病院 救命救急棟を 4月1日に開棟

埼玉石心会病院は「断らない医療」「患者主体の医療」「地域に根ざし、地域に貢献する医療」という3つの理念を掲げております。この理念のもとに医療に取り組み、2016年度から2024年度まで8年連続で救急車応需率99%以上を維持し、年間約1万台の救急車を受け入れています。

一方で、まだ十分に地域の救急医療ニーズに応えられていないと感じており、それに応えるために、今回の救命救急棟の開棟をいたす運びとなりました。

救命救急棟は、1階に重症救急患者に対応する初療室、CT、血管造影室、救急病棟、2階には、手術室や救急ICU(集中治療室)の機能を有しています。

この拡大により、これまで受け入れてきた患者さんに加えて、さらに広範囲からより重篤な患者さんにも対応することが可能になります。

埼玉石心会病院はこれからも地域の医療ニーズに応え、質の高い医療を提供することで地域医療に貢献してまいります。

埼玉石心会病院・さやま総合クリニックの求人情報はこちら ▶



病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

医療情報を“もっと”お手軽にGET!

リニューアルしました!

公式SNS



WEB



LINE

[みんなの健康塾ちゃんねる](#)